

-uchi-modori-

# 打戻つた

No. 0011 '05.7.18(月)

発行人: 桐田探求人 松岡賢二

神奈川県  
Tel/Fax  
E-mail: [redacted]

## いろんな花たちが咲いています

アスパラガス



いんげん



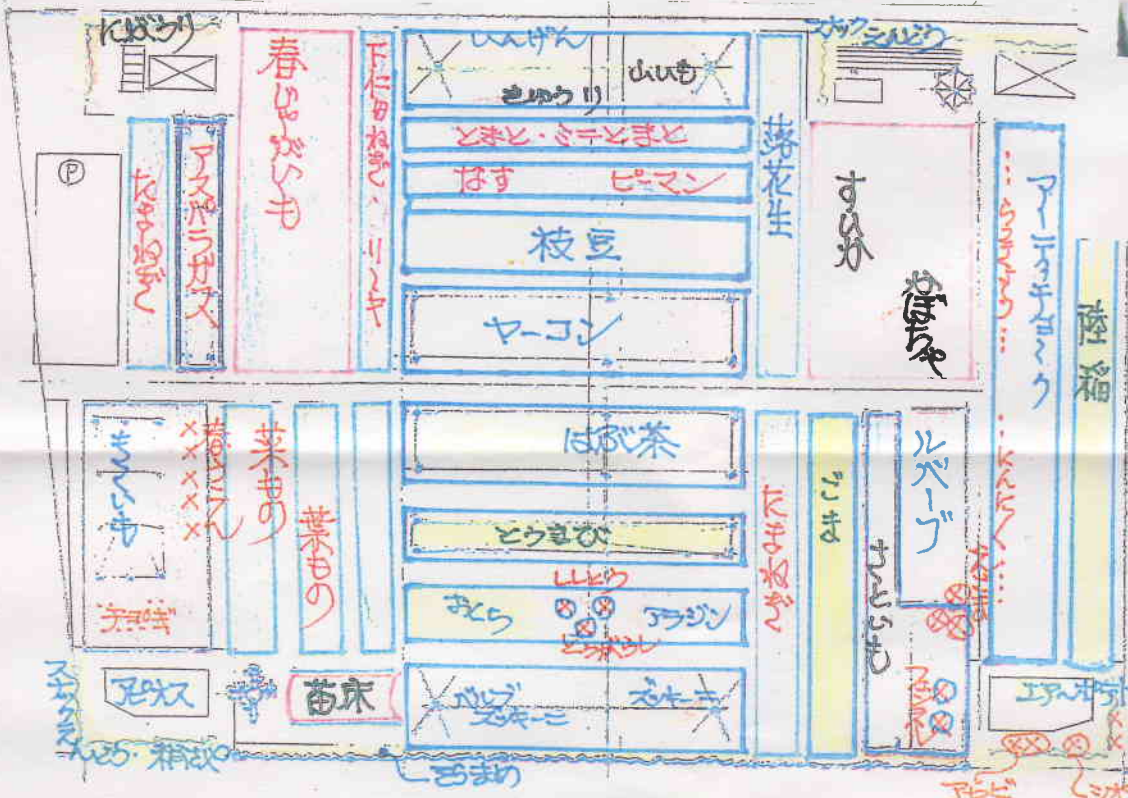
とまと



なす



米なす



アーティチョーク



何処ぞの「からいもの花」



チョロギ



アビオス



かぼちゃ

スクッキーニ

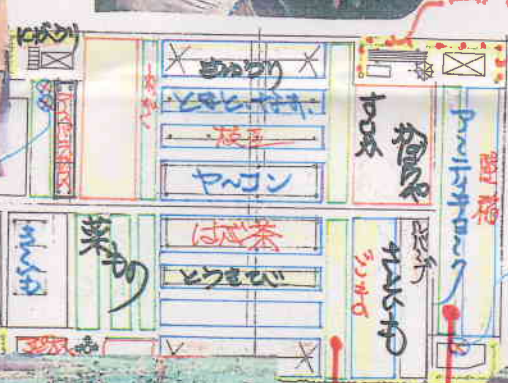
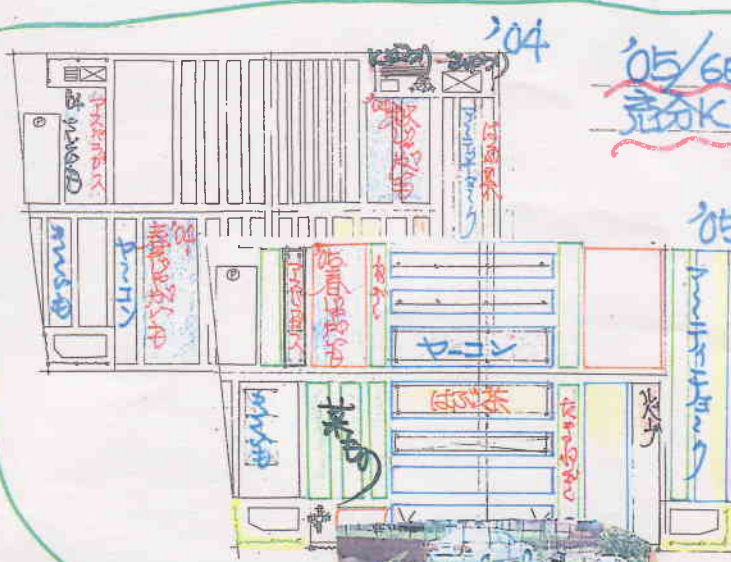


四角マメ



とうもろこし

'05/6Eとぼろぼろ  
 充分満足し、楽しんで来たぞ!!



メソの植付け



いつもながらの文字描き  
 "アヤ&ケン my畑 万才"



myはたけの目玉 アーティチョーク

時は移ろい、.....

今年の4-5月の異常気象で“あぶらむし”の大量発生がテレビでも伝えられましたが、まさに異常でした。スギ花粉と一緒に飛び交い、街中でも話題になっていましたが、「のら人」にとっては おいおい なんだ?こりゃ?の連続でした。そらまめは真っ黒、あちこちに移り廻っては“我が世の春”を謳歌しています。  
 やむを得ず 少しだけの薬剤を散布しましたが、焼け石に水の有様で まさに お手上げの状態です。これも自然の摂理、なんとかなさ! と思うのも 気楽な「のら人」なのです。  
 2年前に買い求めた495円のバラソルの中で、涼を求めながら ひばりの囀りを聞き、ぼーっとしていても 雑草に負けずに「我が子たち」は旺盛に成長しています。7月初めから咲き始めたアーティチョークの花ばかりに気を取られていましたが、考えてみると あらゆる「我が子たち」全てに花が咲き、ちっちゃな実を付けているのです。  
 梅雨明けを目の前にして、しみじみと感動し、あちこちの痛みを擦りながら、夏野菜の生長を楽しみにしています。

# 5月来々.....



収穫する様子さん

5/18(木) 榎田さん



6/4(土) 瑞子さん



お二人さん



アサヒさんのお礼.....

蝶ちよや根切り虫、カメムシばかりがバコッするMyはたけですが、時々仲間が訪れます。嬉しいひとときです。野菜談義を傾け、珍らし系をうるうるしながら説明し、少しばかりでも“収穫”の喜びに浸ってもらえます。キジがケーンと鳴き、ひばりのさえずりの合間にわいわい がやがやの楽しさがあります。



アサヒさん、クボさん、ハイビス!!

7/3(日) 史さん来々



綾子さん



綾子さんとお礼



6/18(土) 宮本さん、米沢さん



日頃の動きは My はたけが中心ですが、この所  
2年前の“中・高年H/F研修”の恩返し、3・4期  
生の体験・実践研修のサポートがあります。  
週に2回 4期生研修はたけに出掛け、研修展示園  
を耕し、植え付け、育てながら 研修生になりきっ  
て、みんなと一緒にわいわいやっています。



4度目のたねまき  
今年の“陸稲”



支柱ときかりネット

**研修風景**  
夫々のはたけを廻り、夫々の  
作物と前にして 替枝・  
誘引・追肥などについて  
実地で説明・指導する。



落花生

すずめとの戦いを征し、やっどこさ「棚田たび」を  
実現出来ました。  
やはり 田んぼはいいもんです。ほっとします。



035のえんの看板



かぼちゃとすいか



千枚田の看板

愛知県・鳳来町の“四谷千枚田”

鞍掛山の麓に位置し、しほり水を水源としながら  
7,4haに852枚の石積の棚田を構成している。起源  
は中世(平安—室町)とあるが、気の遠くなるよう  
な 石積みひとつひとつの石に歴史と血の滲む苦  
を示すかのような「苔」が生えている。

「千枚田だより」によれば、地元(農家)の人  
と共に「千枚田保存会」を作り、400枚程度の水稲  
作付けを続けていると言う。



この“四谷千枚田”には、3度目の訪れとなるのだが、何度来てもいい所のひとつだろう。  
作付けの規模や綺麗さだけが「棚田」の良さではない。生産の場であり、生活の場である限り、人々の  
“生活の息吹”があつて当たり前なのだ。  
田んぼの中に人影があり、水廻り・水落としの毎日の痕跡があり、幼い苗たちが 凍として息吹いて  
いるものなのだ。  
こうした想いを知ってか、当たり前のように 苗たちは風に揺られている。



棚田の中ほどにある「お休み処」から ぐるりと見渡して、.....